

平成17年  
3月25日号

No. 5

●毎月5・15・25日発行

# 広報 かもがわ

- 編集発行・鴨川市役所市長公室  
広報広聴係
- 電話・04(7093)7827
- FAX・04(7093)7850
- 住所・〒296-8601 鴨川市横渚1450
- ホームページ  
http://www.city.kamogawa.lg.jp/

新鴨川市の初代市長に就任  
3月15日  
初登庁

## 本多市政がスタート



職員の拍手に迎えられ



就任式に臨む本多市長

新・鴨川市誕生に伴う市長選挙で無投票当選を果たした本多利夫市長(65)が、3月15日、市庁舎玄関前で市職員が出迎えるなか、初登庁しました。翌日の16日に行われた就任式では、新市の市政を担当するにあたり「豊かな自然と歴史など、新市の貴重な財産を最大限に活用し、後世に誇れるふるさとづくりを精一杯取り組みたい」と、抱負を述べました。なお、3月30日(水)には臨時市議会の開会が予定され、特別職などの人事案件が審議されます。議会の同意を経て助役、収入役が選任されると、いよいよ、本多市政が本格的なスタートを切ります。

### 豊かな自然と歴史

恵まれた資源を生かし  
後世に誇れるふるさとを

として保存しましょう

### 本多市長のプロフィール

氏名 本多利夫  
居住地 鴨川市大里  
生年月日 昭和14年10月9日 (65歳)  
血液型 0型  
略歴 元鴨川市漁業協同組合長、元市議会議員、旧鴨川市長、元全国職員共済組合理事長  
趣味 スポーツ観戦、ゴルフ  
好きな言葉 「敬天愛人」



市民の皆様へ

市長 本多利夫

市民の皆様には、益々ご健勝でご活躍のこと、心からお喜び申し上げます。この度の市長選挙におきまして、市民皆様のご信任をいただき、不肖私が初代市長に就任させていただくことになりました。これも、市民皆様の温かいご支援、新市に寄せられる期待の賜物と心から感謝申し上げますとともに、その責任の重さに身の引き締まる思いがいたします。

このように、先人が築かれた社会資本の整備など、発展のポテンシャルをさらに高めるため、近隣市町と連携を強めながら、国・県道路網の整備を強く要望し、雇用の場の誘導、活力ある学園と福祉のまちづくりに力を注いでまいります。また、厳しい財政状況の中で積極的に行政改革を進め、財政の健全化に努めていきます。

今、我が国では政治、経済などあらゆる分野で構造改革が進められています。市町村でも、少子高齢化、分権社会の到来、高度情報化が進展し、基礎自治体としての役割が益々大きくなり、財政基盤の強化、自治能力の向上が求められています。全国的に展開している市町村合併の根拠の一つはそこにありますが、合併は手段であり、その目的は地域振興にあると、私は思います。

孟子は教えの中で、「天の時地は地の理に如かず、地の理は人の和に如かず」と申されています。合併という天の時を得て、地の理という多くの有形無形の資源に恵まれ、これを生かし発展させるのは人の和であり、私は人の和を大切に、気概と情熱をもって新生鴨川市に全力投球することをお誓い申し上げます。就任のあいさつといたします。市民皆様の一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

鴨川市は天与の温暖な気候と美しい自然に恵まれ、名所・旧跡、近代的宿泊施設が整備された質の高い観光地として衆目されています。また、漁業・農業の一次産業も県下有数の高い水揚げ、生産高を誇り、医療・福祉面では、高度

な優れた民間医療の進展が図られるなど、全国有数の医療・福祉のまちであります。加えて、新たに大学学部の誘致が図られるなど、学園のまちづくりが推進されようとしております。